

第7回

高浜市の未来を描く市民会議

「まちづくりの合言葉」をみんなで決めよう【全体会】&
「基本目標」を考えよう【合同分科会】



日時 平成22年5月31日(月)

午後7時～9時

場所 高浜市役所 第2会議室 他

1. 「まちづくりの合言葉」をみんなで決めよう(7時00分～7時50分)

◆中川幾郎先生(総合計画審議会会長)より、将来都市像・基本目標を考える上でのアドバイス

- ・ 堅苦しくないほうが良い。「～でなければならない」のように義務的に考えるのではなく、「こうありたいなあ」という夢的な考え方で考えると良い。
- ・ みんなが「自分の案が1番」ではバラバラになってしまう。例えば、最多得票数が5票というような状態では決められないので、決選投票を行って過半数を超えるようにする。このキーワードなら大多数の人が納得するというもの同士を組み合わせるのもよい。
- ・ 基本目標は、第3次・第4次計画の時には5本だったが、今回は4本。合同分科会の組み合わせは良いと思う。2つないし3つの分科会が一緒と理解した上で基本目標を考える。例えば、自治基本条例と行財政運営であれば、協働による社会の活性化ということになる。これをどのような言葉にするか、工夫をして欲しい。
- ・ 第4次の時は、「～づくり」と短く収まる感じだった。第3次は、高度経済成長の雰囲気があり、「整備」という言葉が目につく。
- ・ 「～づくり」や「～なまち」も良いと思う。体言止めより「～しよう」というような「よう言止め」にすると、子どもやお年寄りにも分かりやすくなる。これまでの例を見ると、3次は体言止め、4次は「～よう言止め」、5次は体言止めになっている。6次はまた「～よう言止め」にしたらと思うが、そこはみなさんで議論をして欲しい。
- ・ 映像的な、イメージできる「ビジョン」になるように。ビジョン(都市像)が頂点になり、その頂点に向かって、どう攻めていくのか、どうエネルギーを出していくのかという「行動」を表すと良い。
- ・ 到達目標が都市像であり、行動基準が基本目標4本にあたる。目指すところは同じだが、手法が違って来る。到達目標に向かい、どう行動するか、イメージを書き出して、重ねていくように。

◆産業分科会(神谷環光リーダー)より、「事業者アンケート」の結果について報告

- ・ 各分科会の検討にも活かして欲しい。

◆事前投票の集計結果発表（投票者数 114 人・有効ポイント数 327 票）

- | | | |
|-----|-----------------------------|------|
| 第1位 | “輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま” | 22 票 |
| 第2位 | “みんなで支え合うまち 大家族「たかはま」” | 13 票 |
| 第3位 | “思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま” | 12 票 |

第3位を古橋知美さん（地域福祉）、第2位を清水恵子さん（子育て・子育て）、第1位を鈴木貞利さん（環境）に読み上げていただき、感想を述べていただいた。

◆第1位から第3位まで、1人1票ずつ投票

<投票結果>

- | | | |
|---|-----------------------------|------|
| ① | “輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま” | 40 票 |
| ② | “みんなで支え合うまち 大家族「たかはま」” | 24 票 |
| ③ | “思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま” | 39 票 |

◆僅差だったため、2つの候補同士で決選投票することに。投票前に応援演説。

【浅岡保夫さん（行財政運営）】

「思いやり 支え合い」という言葉が具体的で好き。①は、言葉は美しいが、「輝く未来」というのが大き過ぎてイメージしづらい。

【神谷義国さん（自治）】

③は具体的行動レベル。将来都市像というのはビジョンなので、①のように笑顔あふれるようにしたい！という感じが良い。

【磯村順司さん（産業）】

②に入れたので…。お2人の意見を聞いて、なるほどと思った。この意見を噛み砕いて、各自考えてもらえれば。

【神谷法穂さん（生涯学習）】

同じく②に投票…。「支え合い」という言葉が好き。これから大事なものは、支え合いだと思う。

【神谷正巳さん（行財政運営）】

③に投票。次の10年として先を見たとき、①だとこの先ずっと、永遠の課題という感じがする。③はある程度区切りもあって、具体的にこうしたい、実現できそうだという気持ちも入っている。

◆投票結果

- | | | |
|---|-----------------------------|------|
| ③ | 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」 | 59 票 |
| ① | 「輝く未来へ 笑顔あふれる 大家族都市 たかはま」 | 43 票 |
- 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を
市民会議としての将来都市像案に決定。（拍手を持って賛同）

◆中川幾郎先生（総合計画審議会会長）よりコメント

- ・ これで心がける目標が決まった。「思いやる」というのは、心がけという精神論ではなく、仕組み。「思いやり」は、対等な心の通う関係＝「パートナーシップ」。
- ・ 「ソーシャルインクルージョン」という言葉があるが、みんな一緒という意味を持つ。反対は「ソーシャルエクスクルージョン」と言い、疎外という意味になる。
- ・ 「支え合い」は、キーワードランキングでも票が多かった。支え合いは、役割であり、責任である。人と人が支え合うという意味だけでなく、みんなでこのまちを支えていくということも含んでいる。支え合いは、行政と市民との協働関係づくりである。大玉ころがしのようにみんなの手で、みんなの力で支える。力のある人は力を、知恵のある人は知恵を、時間のある人は時間を、何も無い人は愛嬌を、持っているものを出し合うことが大事。
- ・ 持続可能な発展につなげるには、生物の多様性を大切にする＝個性を大切にする。
- ・ 「手と手をつなぐ」は行政・市民のネットワークづくり、仕組みづくり。市民、地域、まち協、議会、行政・・・、いろいろな人たちがつながりあうことが大切。気持ちだけではなく、どう行動に移すかが課題。
- ・ 多様性、異質性が大切。ホモ（同質）ではなく、ヘテロ（異質）同士がつながることが成長へとつながる。異業種の人とは関らないことも多いが、異質なものを排除し続ければ、いずれ滅びていく。他市とのつながりも大切に考えたい。
- ・ 市民はもちろん、職員も、まち協も、議会も、みんな家族の一員であり、全てが集約されて家族になる。「大家族たかはま」は、団体自治も住民自治も含めた「自治体高浜市づくり」である。
- ・ エネルギーが集約された、高浜市らしい市民の手づくり感あふれる、大変良い将来都市像になったと思う。

2. 合同分科会による検討作業(8時00分～)

部屋	分科会名	部屋	分科会名
第2会議室(4階)	産業 環境 都市基盤	第4会議室(4階)	自治基本条例 行財政運営
第5会議室(4階)	生涯学習 教育 子育て・子育て	地下教養室	地域福祉 健康

※報告内容は別紙「合同分科会報告」参照

3. お知らせ

＜第8回＞ 日時:6月30日(水)午後7時～ 場所:中央公民館 中会議室(3階)
各分科会からの発表

＜分科会の今後の予定＞

分科会名	日程	分科会名	日程
自治基本条例	6月 2日(水)19:00～ 市役所第2会議室	産業	6月 2日(水)19:00～ 市役所地下教養室
行財政運営	6月 3日(木)19:00～ 市役所第4会議室	環境	調整中
教育	調整中	都市基盤	調整中
生涯学習	6月 7日(月)19:00～ 市役所第4会議室	合同分科会 ・地域福祉 ・健康	6月22日(火) いきいき広場ホール ※終了後、各分科会
子育て・子育て	6月21日(月)19:00～ 市役所第6会議室	合同分科会 ・自治 ・行財政運営	6月10日(木)19:00～ 市役所第2会議室 ※終了後、各分科会



▲ 事前投票中



▲ 中川幾郎先生からアドバイスを伝授



▲ 毎回、多数の方が傍聴されます



▲ 事前投票結果 トップ3が出揃いました



▲ 声に出してみましよう(古橋知美さん)



▲ 投票中



▲ 投票中



▲ 投票中



▲ 投票結果集計中



▲ 応援演説(浅岡保夫さん)



▲ 応援演説(神谷義国さん)



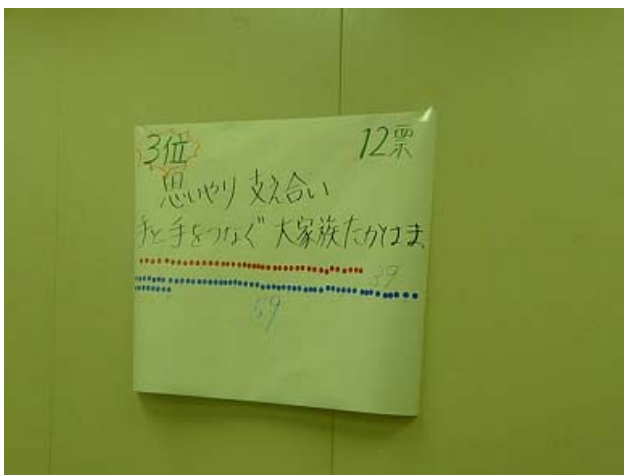
▲ 応援演説(神谷法穂さん)



▲ 決選投票



▲ 決選投票



▲ 「まちづくりの合言葉」決定！！(59票獲得)



▲ 拍手！！